名古屋城　湯殿書院

Nagoya Castle Yudono Syoin
（愛知県名古屋市）

今回紹介するのは名古屋城にある本丸御殿の一部である湯殿書院である。湯殿書院は将軍専用の風呂であり、いわゆる蒸し風呂である。

観覧者が入る湯殿書院の玄関は将軍が本丸御殿から湯殿書院に出入りする経路とは異なるが、玄関から入るといくつかの小部屋がある。将軍が休憩や着替えをするためのスペースだ。一番奥にあるのが浴室である。蒸し風呂の前には広いスペースがある。内装はすべて無垢の木だ。

蒸し風呂の入口は唐破風。内部は 2 畳ほどもない狭いスペースだ。床の板には幅 1 センチほどのスリットがたくさん切ってあり、ここから蒸気が出てくる仕掛けになっている。

蒸し風呂の反対側には釜屋があり、かまどの上に水を満たした鉄の大鍋があるイメージだ。この大鍋から蒸気が発生し、その上部にある蒸し風呂に供給される。詳しく確認するのを忘れたが、供給された蒸気がどのように排気されるのか、不明であった。また、わざわざ湯を沸かさなくても、石を熱してその上に水をぶっかければ、もっと効率的に蒸気を発生できるのではないかと思ったが、そのようなことはしていないようだった。

将軍だけが味わえる贅沢な蒸し風呂。それが湯殿書院である。いや、もっと様々な風呂が味わえる現代の我々の方がずっと贅沢である。

DATA

名称	名古屋城　湯殿書院
所在地	愛知県名古屋市中区本丸 1-1
電話	052-231-1700
営業時間	9：00～16；30
定休日	12 月 29 日～1 月 1 日
観覧料	500 円
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2023 年 5 月 2 日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	なし